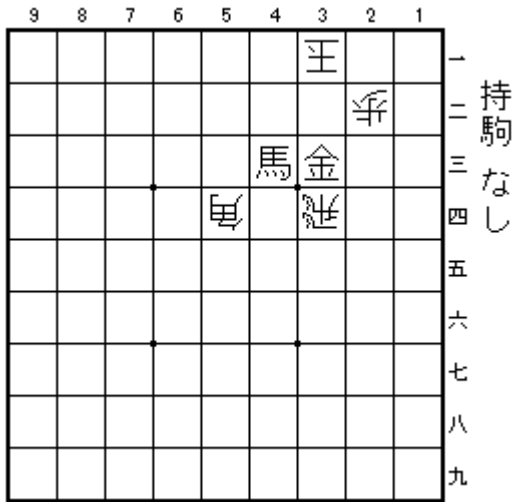


詰将棋解答選手権 2023 初級戦解題

①柳田 明作



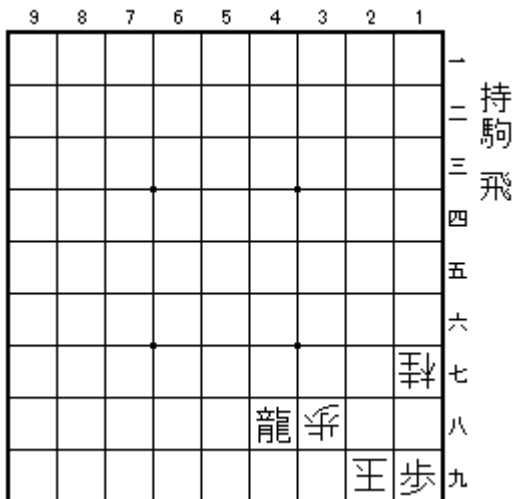
42 金まで 1 手詰

持駒がないため盤上の馬か金を動かしますが、32 金は同飛、32 馬は同角と玉方の駒に取られてしまいます。

また、42 馬や 53 馬は 21 玉と逃げられて詰みませんし、21 馬や 22 金は同玉で続く手がありません。

42 金が馬の 21 への利きを保持しつつ、玉方の駒にも取られない手で正解です。

②金子清志作



39 飛、同歩成、18 龍まで 3 手詰

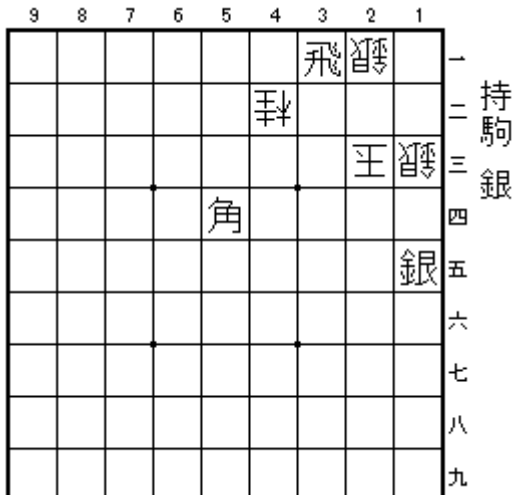
初手は飛を打ちますが、場所が問題です。

2 筋は 19 玉、49 や 59 は 28 玉と逃げられて詰みません。

39 に打つのが正解で、対して 28 玉は 38 龍で駒が余ります。

同歩成に 18 龍で、19 歩の支えがあって詰みます。

③杉田 透作

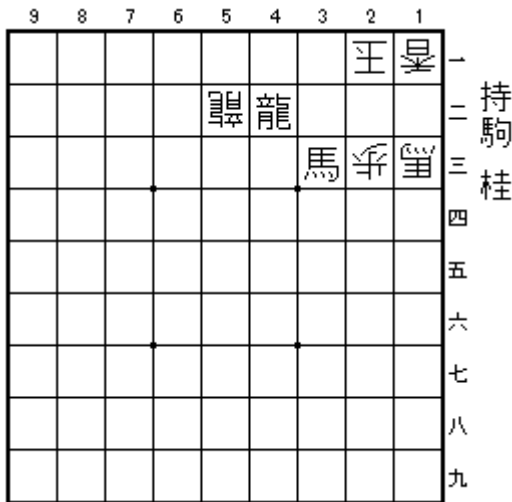


12 銀、同銀、32 飛成まで 3 手詰

初手で 32 飛成としたいですが、同銀で詰みません。また、34 銀は 12 玉ならば 21 飛成で詰みませんが、同桂で詰みません。

12 銀が正解で、対して同玉は 21 飛成、22 玉は 21 角成で駒が余ります。同銀で 32 への利きが消えたため、32 飛成が実現して大団円となります。

④武 紀之作



32 馬、12 玉、21 馬、同玉、33 桂まで5手詰

52 龍を働かせない手順を考えます。

初手は32 龍ですと同龍で詰みませんので、32 馬が正解。
12 玉に 21 馬と捨てるのがポイントです。他の位置に馬を動かすとやはり 32 龍で詰みません。同玉に桂を打って詰み。

問題図から 33 馬を消して桂に換えた結果になります。

⑤松田圭市作



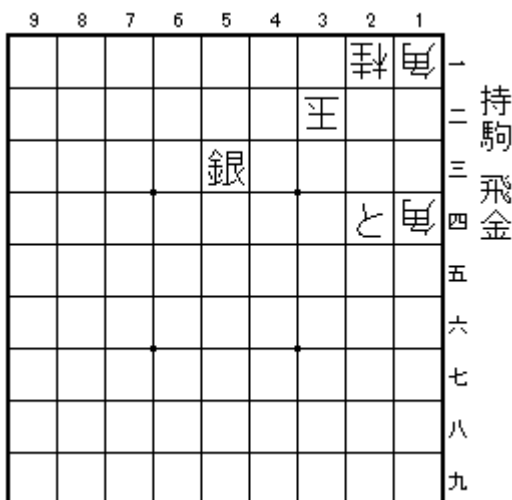
52 銀成、32 玉、23 飛成、同龍、42 角成まで5手詰

初手から 32 銀成、同玉、52 飛成は 33 玉ならば 42 龍で詰みですが、同馬で詰みません。

52 銀成と玉から遠ざかるのが正解です。

3 手目は 33 飛成や 43 飛成ですと同玉の場合は 42 角成で詰みますが、同龍で詰みません。23 飛成が正解で、同龍に 42 角成で解決します。42 角成を同玉とされないため、初手は成限定です。

⑥山路大輔作



52 飛、43 玉、44 金、同角、42 銀成まで5手詰

初手 42 金は 22 玉、32 飛に同角と取られて詰みませんので、飛を打つ手を考えます。42 飛は 31 玉で、金をどこに打っても角に取られます。12 飛は 43 玉、44 金に同角、42 飛成、54 玉で逃げられます。34 飛は 33 歩で後が続きません。

52 飛が正解で、以下 43 玉、44 金、同角は 12 飛の場合と同じ手順。ここで 42 銀成とすると、54 には飛が利いていて逃げられず詰みとなります。このために初手 62 飛や 72 飛では詰まず。52 飛に限定されています。

本問で時間をかけずに正解にたどりついた方は、初級の域を超えていることでしょう。